

# NSG グループ

## 2025年3月期 第2四半期決算報告

(2024年4月1日～ 2024年9月30日)

日本板硝子株式会社  
2024年11月8日

**細沼 宗浩**

代表執行役社長 兼 CEO

**大河内 聡人**

執行役常務 CFO

# 目次

1. 2025年3月期 第2四半期決算概要
2. 2025年3月期 業績予想について
3. 中期経営計画「2030 Vision : Shift the Phase」における  
財務目標の進捗状況
4. 欧州の事業環境と施策
5. まとめ

# 1. 2025年3月期 第2四半期決算概要

# 連結損益計算書

欧州経済減速の大きな影響が建築用ガラス事業を中心に継続。  
売上高は為替影響もあり前年同期と同水準だが、営業利益は減益

(億円)	7-9月期 (3か月)			累計 (6か月)			上期業績 予想
	2024年 3月期	2025年 3月期	差異	2024年 3月期	2025年 3月期	差異	
売上高	2,122	<b>2,060</b>	△ 62	4,202	<b>4,224</b>	23	4,100
営業利益	115	<b>55</b>	△ 60	260	<b>102</b>	△ 158	120
営業利益率	5.4%	<b>2.7%</b>	△ 2.7 pt	6.2%	<b>2.4%</b>	△ 3.8 pt	2.9%
個別開示項目 (純額)	11	△ 2	△ 13	3	△ 0	△ 3	-
個別開示項目後営業利益	125	<b>53</b>	△ 73	263	<b>102</b>	△ 161	120
金融費用 (純額)	△ 77	△ <b>66</b>	11	△ 140	△ <b>126</b>	15	△ 130
持分法適用会社に対する 金融債権の減損損失の戻入益	-	-	-	37	-	△ 37	-
持分法による投資利益	12	<b>14</b>	2	22	<b>25</b>	4	25
持分法投資に関する その他の利益 (△損失)	△ 0	-	0	11	-	△ 11	-
税引前利益	61	<b>1</b>	△ 60	193	<b>2</b>	△ 192	15
当期利益 (△損失)	30	△ <b>61</b>	△ 90	105	△ <b>34</b>	△ 139	10
純利益 (△損失)*	27	△ <b>63</b>	△ 90	98	△ <b>39</b>	△ 136	0
EBITDA	226	<b>175</b>	△ 51	480	<b>350</b>	△ 130	

自動車用ガラス事業および高機能ガラス事業は増収だが、建築用ガラス事業を中心に全事業で営業利益は減益

【売上高および営業利益 (事業別) : 前年同期比】

(億円)	売上高	営業利益
建築用	△ 130	△ 151
自動車用	+ 121	△ 28
高機能	+ 48	△ 1
その他	△ 17	+ 22
<b>グループ全体</b>	<b>+ 23</b>	<b>△ 158</b>

欧州の金利低下に伴い前年同期比減少

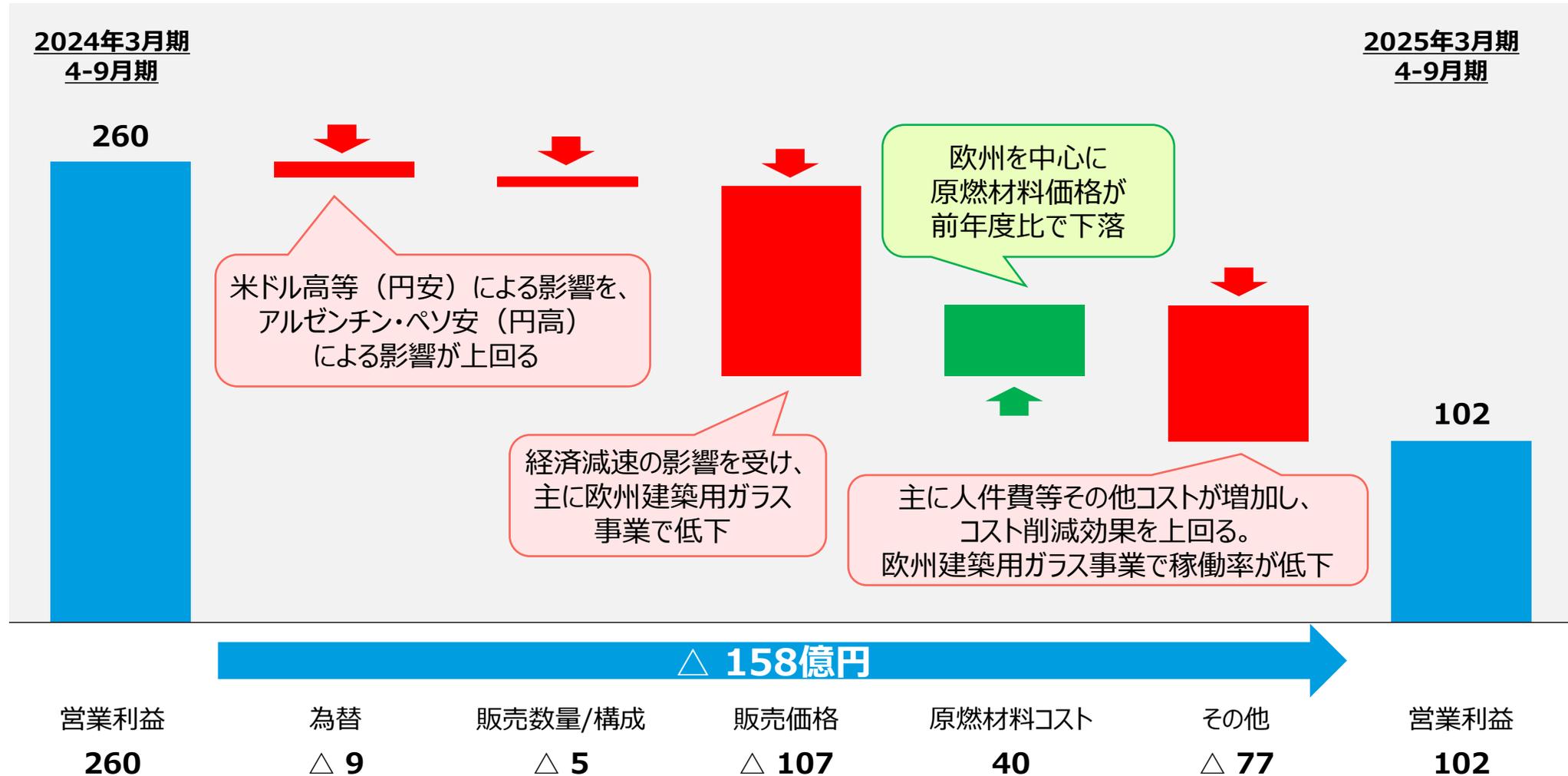
前年はロシアJVの売却に伴い、過去に計上した金融債権および投資に対する減損損失の戻入益を計上

法人所得税は通期の見積実効税率に基づき計算

\*親会社の所有者に帰属する当期利益 (△損失)

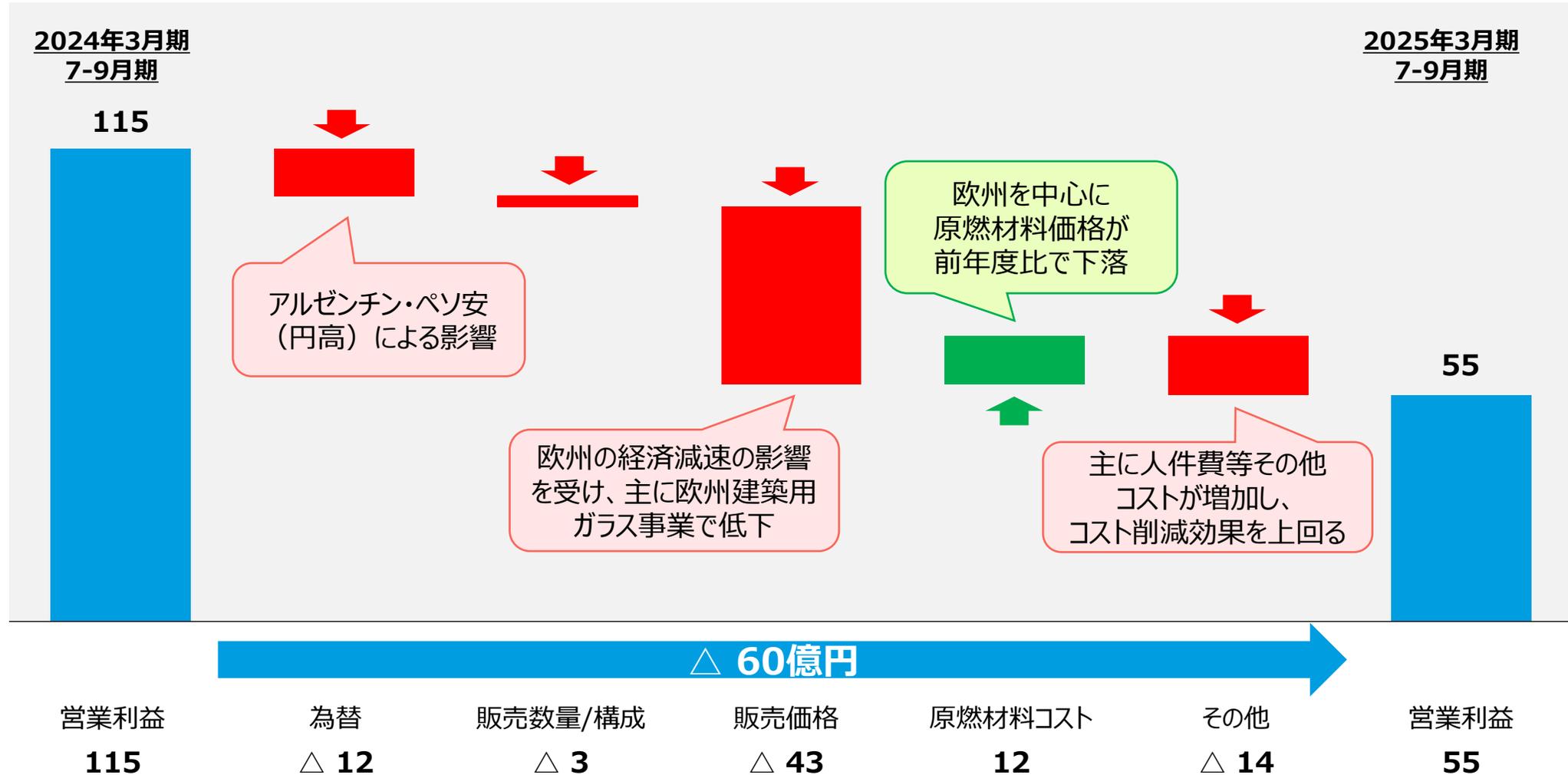
# 営業利益差異分析 (上期累計)

経済減速の影響を受け欧州建築用ガラス事業で販売価格と稼働率が低下。  
人件費等の増加によりその他コスト増加も継続



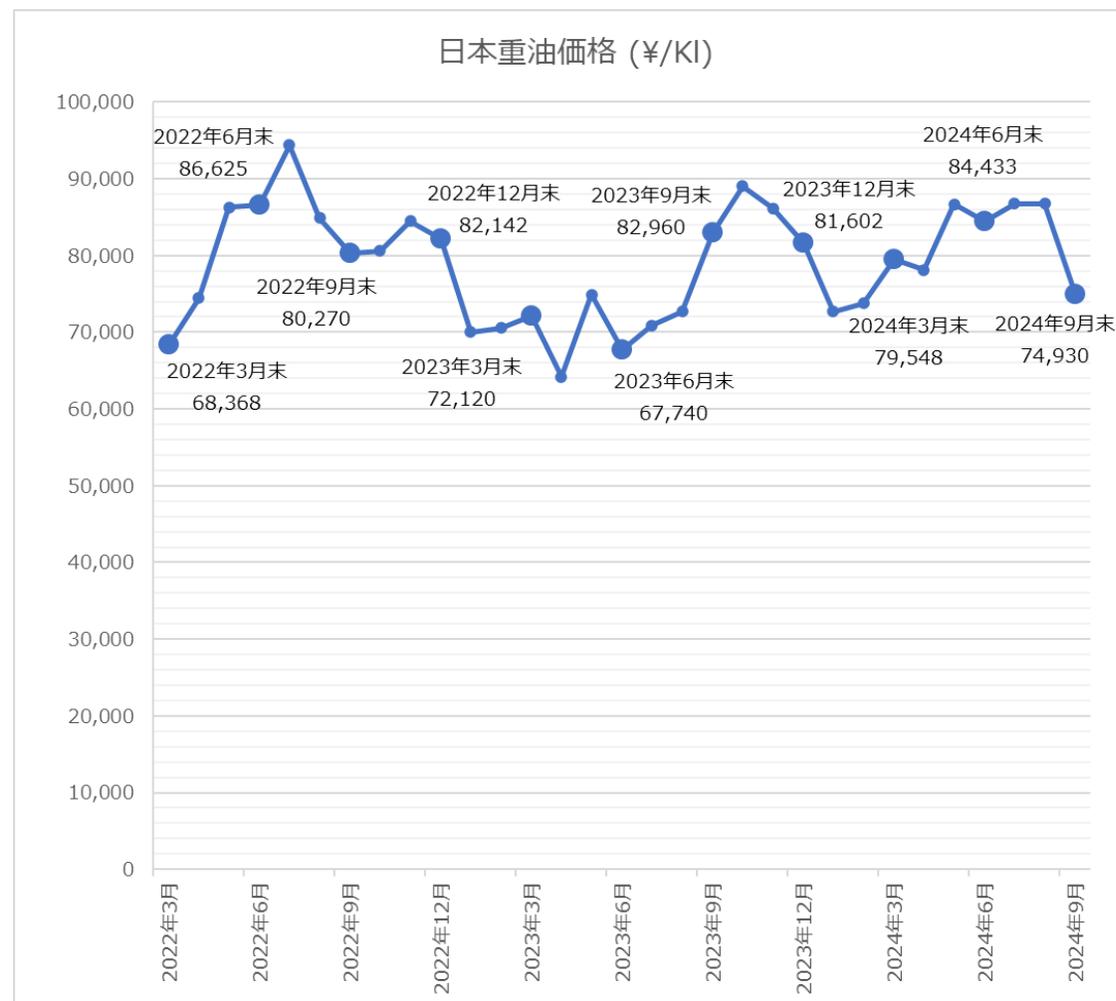
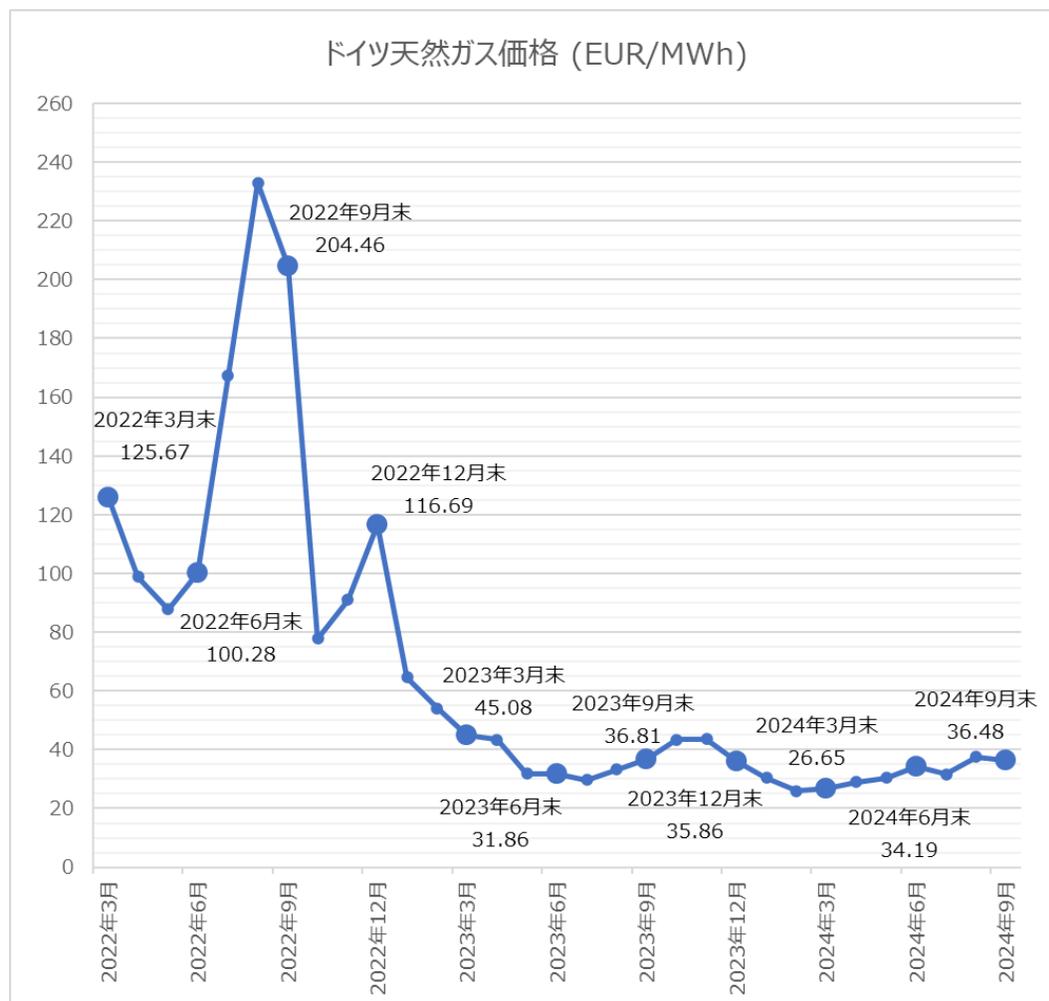
# 営業利益差異分析 (7-9月期)

経済減速の影響を受け欧州建築用ガラス事業で販売価格の低下が継続。  
 欧州建築用ガラスの稼働率低下は緩和したが、人件費等の増加によりその他コスト増加も継続



# エネルギー価格の推移

ドイツの天然ガス価格：前年度以降安定的に推移  
日本の重油価格：引き続き高値圏で推移



# 連結貸借対照表

自己資本比率は11.1%と前期末比で1.2pt低下。

有利子負債は営業減益および運転資本の季節的な変動に伴うフリー・キャッシュ・フローのマイナスにより前期末比で増加

(億円)	2024年 3月末	2024年 9月末	増減	
<b>資産合計</b>	<b>10,076</b>	<b>9,812</b>	<b>△ 263</b>	主に為替影響（円高）による有形固定資産の減少
非流動資産	6,863	6,739	△ 124	主に棚卸資産、売掛債権およびその他の債権の減少
流動資産	3,213	3,073	△ 140	
<b>負債合計</b>	<b>8,537</b>	<b>8,399</b>	<b>△ 138</b>	主に仕入債務およびその他の債務の減少
流動負債	3,699	3,366	△ 333	主に有利子負債の増加
非流動負債	4,839	5,033	194	
<b>資本合計</b>	<b>1,538</b>	<b>1,413</b>	<b>△ 125</b>	主に為替影響（円高）および純損失の計上により自己資本比率が11.1%に低下
親会社の所有者に帰属する持分	1,243	1,093	△ 150	
<b>自己資本比率 (%)</b>	<b>12.3%</b>	<b>11.1%</b>	<b>△ 1.2pt</b>	主に営業減益および運転資本の季節的な変動に伴うフリー・キャッシュ・フローのマイナスによる増加
<b>有利子負債</b>	<b>5,065</b>	<b>5,310</b>	<b>246</b>	

# 連結キャッシュ・フロー計算書

フリー・キャッシュ・フローは、7-9月期ではプラスだが前年同期比では営業減益のため減少。  
 営業活動によるキャッシュ・フローは、運転資本の季節的増加の抑制が営業減益の影響を軽減

(億円)	7-9月期 (3か月)			4-9月期累計 (6か月)		
	2024年 3月期	2025年 3月期	差異	2024年 3月期	2025年 3月期	差異
営業活動によるキャッシュ・フロー	209	156	△ 53	34	△ 38	△ 72
（うち、運転資本の増減）	71	125	54	△ 313	△ 167	146
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 79	△ 125	△ 46	△ 220	△ 248	△ 29
（うち、有形固定資産の取得）	△ 140	△ 117	23	△ 278	△ 235	43
<b>フリー・キャッシュ・フロー</b>	<b>130</b>	<b>30</b>	<b>△ 100</b>	<b>△ 186</b>	<b>△ 286</b>	<b>△ 101</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 51	88	139	1	311	310
現金及び現金同等物の増減	80	119	39	△ 185	25	210
現金及び現金同等物 期末残高				552	460	△ 92

運転資本の季節的な増加の抑制により営業減益の影響を軽減

7-9月期ではプラスだが前年同期比では減少

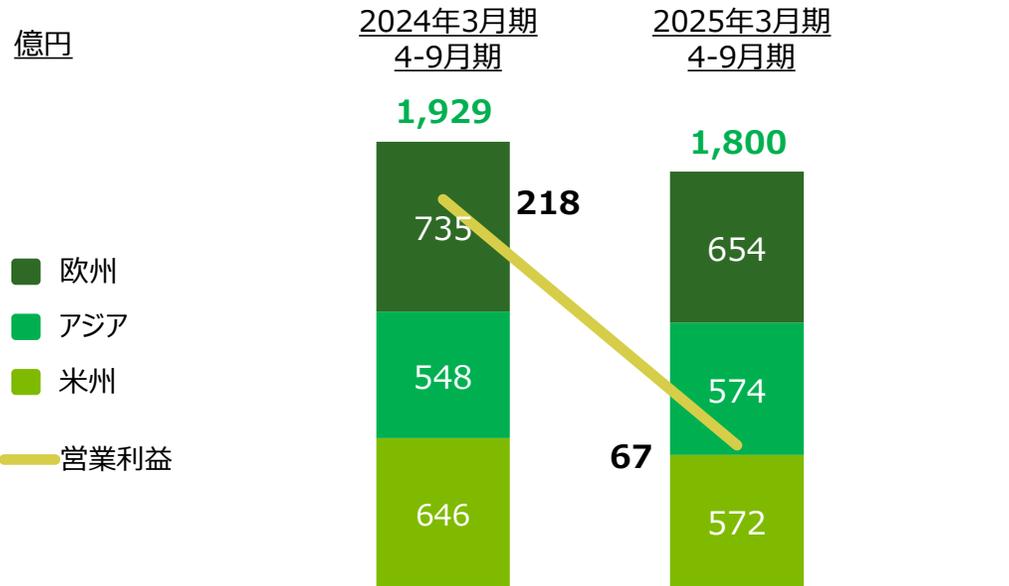
# セグメント情報

(億円)	2023年3月期 4-9月期			2024年3月期 4-9月期			2025年3月期 4-9月期			増減	
	売上高	%	営業利益	売上高	%	営業利益	売上高	%	営業利益	売上高	営業利益
<b>建築用ガラス事業</b>	<b>1,821</b>	<b>48%</b>	<b>155</b>	<b>1,929</b>	<b>46%</b>	<b>218</b>	<b>1,800</b>	<b>43%</b>	<b>67</b>	△ 130	△ 151
欧州	788	21%		735	17%		654	15%		△ 81	
アジア	490	13%		548	13%		574	14%		26	
米州	543	14%		646	15%		572	14%		△ 74	
<b>自動車用ガラス事業</b>	<b>1,719</b>	<b>46%</b>	△ 17	<b>2,052</b>	<b>49%</b>	<b>63</b>	<b>2,173</b>	<b>51%</b>	<b>35</b>	<b>121</b>	△ 28
欧州	699	19%		838	20%		892	21%		54	
アジア	324	9%		383	9%		399	9%		16	
米州	696	19%		831	20%		882	21%		51	
<b>高機能ガラス事業</b>	<b>202</b>	<b>5%</b>	<b>57</b>	<b>199</b>	<b>5%</b>	<b>40</b>	<b>247</b>	<b>6%</b>	<b>39</b>	<b>48</b>	△ 1
欧州	46	1%		50	1%		52	1%		1	
アジア	148	4%		140	3%		186	4%		46	
米州	8	0%		9	0%		10	0%		1	
<b>その他</b>	<b>15</b>	<b>0%</b>	△ 51	<b>22</b>	<b>1%</b>	△ 61	<b>4</b>	<b>0%</b>	△ 38	△ 17	<b>22</b>
<b>合計</b>	<b>3,757</b>	<b>100%</b>	<b>144</b>	<b>4,202</b>	<b>100%</b>	<b>260</b>	<b>4,224</b>	<b>100%</b>	<b>102</b>	<b>23</b>	△ 158

# 建築用ガラス事業

(累計：減収・減益 7-9月期：減収・減益)

欧州を中心に多くの地域で販売数量の減少と販売価格の下落の影響を受け、  
前年同期比で減収減益



(億円)	7-9月期 (3か月)			累計 (6か月)		
	2024年 3月期	2025年 3月期	差異	2024年 3月期	2025年 3月期	差異
売上高	972	898	△ 74	1,929	1,800	△ 130
欧州	354	309	△ 45	735	654	△ 81
アジア	280	303	23	548	574	26
米州	338	285	△ 53	646	572	△ 74
営業利益	99	33	△ 66	218	67	△ 151

## 欧州 (累計：減収・減益 7-9月期：減収・減益)

- 経済活動の減速に伴い販売価格が大きく低下
- 市場環境の悪化による影響は投入コストの減少により一部軽減
- 6月よりドイツのフロート窯1基で生産停止
- 1月よりさらにドイツのフロート窯1基で生産停止を決定

## アジア (累計：増収・減益 7-9月期：増収・増益)

- 日本では販売数量が減少したが、販売価格は安定して推移
- 太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調。マレーシアの新設備も収益に貢献

## 米州 (累計：減収・減益 7-9月期：減収・減益)

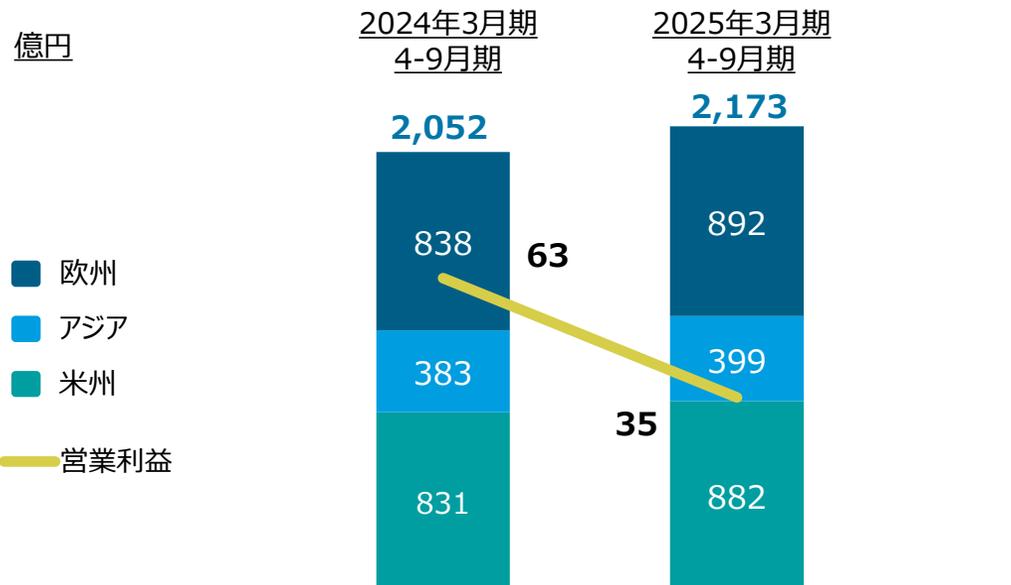
- 北米は域内の需要軟化が継続し、販売価格が低下、販売数量も減少
- 南米は需要が減少し、販売数量減少
- 太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調。米国の既存フロートラインの転換は順調に進捗

# 自動車用ガラス事業

(累計：増収・減益 7-9月期：減収・減益)



販売数量回復ペースが鈍化したが、価格転嫁の進展および円安による影響もあり累計では増収。  
営業利益は人件費等その他コスト上昇の影響を受け、前年同期比で減少



(億円)	7-9月期 (3か月)			累計 (6か月)		
	2024年3月期	2025年3月期	差異	2024年3月期	2025年3月期	差異
売上高	1,043	1,037	△6	2,052	2,173	121
欧州	413	416	4	838	892	54
アジア	204	204	△1	383	399	16
米州	426	417	△9	831	882	51
営業利益	31	10	△21	63	35	△28

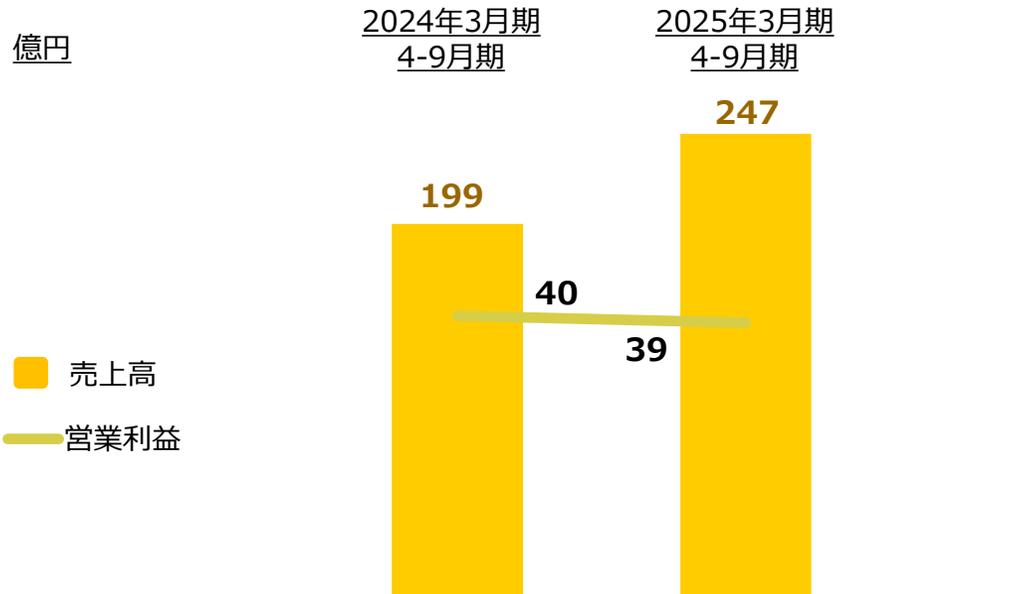
欧州 (累計：増収・減益 7-9月期：増収・減益)  
 アジア (累計：増収・増益 7-9月期：減収・増益)  
 米州 (累計：増収・減益 7-9月期：減収・減益)

- 販売数量は、欧州での自動車生産減少、アジアと北米の一部取引先での生産停止の影響を受け、回復ペースが鈍化
- 原材料およびその他コスト増加を転嫁するための価格交渉がさらに進捗。販売価格が改善したものの、人件費等その他コストを十分に吸収できず、営業利益が減少
- 北米で一時低下していた生産効率をさらに改善
- 引き続きコスト削減、高付加価値製品の拡大、価格改善を推進

# 高機能ガラス事業

(累計：増収・減益 7-9月期：増収・増益)

多くの事業で需要の回復が継続し増収。  
営業利益はその他コスト増加により前年同期と同水準



- ファインガラスでは、一部製品で価格水準が改善
- プリンター用レンズは、需要が回復
- グラスコードは補修用市場での強い需要を背景に販売数量が増加
- メタシャイン® は自動車用塗装向けで増加

(億円)	7-9月期 (3か月)			累計 (6か月)		
	2024年 3月期	2025年 3月期	差異	2024年 3月期	2025年 3月期	差異
売上高	99	123	24	199	247	48
営業利益	19	19	0	40	39	△ 1

## 2. 2025年3月期 業績予想について

# 2025年3月期 業績予想

欧州経済減速の影響を受けた上期実績を踏まえ、営業利益、税引前利益、当期利益の予想を下方修正。  
グループ全体でのさらなるコスト削減等、利益改善に向けてあらゆる施策を実施

(億円)	2025年3月期 上期予想 (前回)	2025年3月期 上期実績	2025年3月期 通期予想 (前回)	2025年3月期 通期予想 (今回)	増減	2024年3月期 通期実績 (参考)
売上高	4,100	4,224	8,400	8,500	100	8,325
営業利益	120	102	300	260	△ 40	359
個別開示項目 (純額)	-	△ 0	-	20	20	1
個別開示項目後営業利益	120	102	300	280	△ 20	360
金融費用 (純額)	△ 130	△ 126	△ 280	△ 270	10	△ 282
持分法適用会社に対する 金融債権の減損損失の戻入益	-	-	-	-	-	37
持分法による投資利益	25	25	50	50	-	51
持分法投資に関する その他の利益	-	-	-	-	-	10
税引前利益	15	2	70	60	△ 10	176
当期利益 (△損失)	10	△ 34	20	10	△ 10	109
純利益 (△損失)*	0	△ 39	0	0	-	106

# 2025年3月期 業績予想の前提

<b>グループ</b>	<p><b>欧州の経済減速の影響を大きく受け、営業利益、税引前利益、当期利益予想を下方修正。グループ全体でのさらなるコスト削減等、利益改善に向けてあらゆる施策を実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 主要通貨について2024年3月期より円安を見込む</li><li>● エネルギー価格や原材料価格は安定的に推移するものの、インフレによる人件費等その他コスト増加は継続</li><li>● コスト削減、高付加価値製品拡大、価格改善を継続</li></ul>
<b>建築用ガラス</b>	<p><b>欧州の経済減速は当面続くが、フロート窯の生産停止により対応。太陽電池パネル用ガラスで好調が継続</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 欧州：景気減速による販売数量減少・販売価格低下と、コスト増加の影響が続く</li><li>● アジア：日本では販売価格が安定して推移</li><li>● 北米：域内の需要軟化が継続し、販売数量が減少。米国の経済動向に注視</li><li>● 南米：アルゼンチンの需要軟化が継続</li><li>● 太陽電池パネル用ガラス：堅調な需要が継続</li></ul>
<b>自動車用ガラス</b>	<p><b>人件費等コスト増加の影響が続くが、販売価格改善交渉を継続</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 自動車需要を背景に販売数量の回復は続くが、ペースは鈍化</li><li>● 自動車メーカーと、投入コスト増加を軽減するための価格改善交渉を継続</li><li>● 引き続きコスト削減、高付加価値製品拡大、価格改善により更なる収益性改善を目指す</li></ul>
<b>高機能ガラス</b>	<p><b>多くの市場が回復。コスト増加の影響を販売数量および販売価格の改善で吸収</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>● ファインガラスは、IT市場が回復</li><li>● プリンター用レンズは、プリンターメーカーの生産数量増加に伴い需要回復</li><li>● グラスコードは、補修用で販売数量が増加</li></ul>

### 3. 中期経営計画「2030 Vision : Shift the Phase」における 財務目標の進捗状況

# 「2030 Vision : Shift the Phase」財務目標の進捗状況

欧州経済減速の影響を受けるが、収益性は改善傾向。

引き続き収益性を向上させキャッシュ創出力を高め、財務基盤を改善することに注力

		2027年3月期 目標	2030年3月期 目標	2025年3月期（4-9月期） 実績
収益性 (P/L)	営業利益	640億円		102億円：2025年3月期第2四半期は55億円と、第1四半期（48億円）からは改善
	営業利益率 (ROS)	7%	10%以上	2.4%：2025年3月期第1四半期（2.2%）から改善
▼				
キャッシュ創出 (C/F)	フリー・キャッシュ・フロー	270億円		△286億円：7-9月期ではプラスだが、営業減益および運転資本の季節的な変動により累計のフリー・キャッシュ・フローはマイナス。営業活動によるキャッシュ・フローは、運転資本の季節的な増加の抑制が営業減益の影響を軽減
▼				
財務基盤の安定化 (B/S)	有利子負債	4,420億円		5,310億円：営業減益および運転資本の季節的な変動に伴うフリー・キャッシュ・フローのマイナスにより増加
	自己資本比率	15%		11.1%：前期末から1.2pt低下

## 4. 欧州の事業環境と施策

# 欧州の事業環境と施策

欧州ではエネルギー効率改善のためのリノベーション需要は中長期的に拡大。  
ダウンストリーム強化による脱コモディティ製品化により対応

## 1. 欧州の事業環境

- 直近ではインフレ拡大、高金利の継続に伴う経済減速の影響を大きく受けて需要が減少
- 金利の低下が始まっており、それに伴う段階的な経済回復を期待
- エネルギー効率改善のためのリノベーション需要は中長期的に拡大

## 2. 施策～「2030 Vision : Shift the Phase」の「Business Development」に基づく脱コモディティ製品化

- アップストリーム（板硝子生産工程）の削減
  - 英国でフロート板ガラスと型板ガラスの溶融窯を共用化（2023年4月21日公表）
  - ドイツ・バイアハマー工場のフロート窯1基での定修前の早期生産停止（2024年3月19日公表）
  - ドイツ・グレートベック工場のフロート窯1基での生産停止（2024年10月10日公表）
- ダウンストリーム（板硝子加工工程）の脱コモディティ製品強化
  - 複層ガラス、トリプル複層ガラス（主にポーランド）
  - 先進的なコーティング技術を活用した製品低放射（Low-E）ガラス等（英国、ポーランド）
  - 大型ラミネート合わせガラス（ドイツ）

## 5. まとめ

# まとめ

## 1. 2025年3月期 第2四半期決算概要

- 欧州経済減速の大きな影響が建築用ガラス事業を中心に継続。売上高は為替影響もあり前年同期と同水準だが、営業利益は減益
- 経済減速を受け欧州建築用ガラス事業で販売価格と稼働率が低下。人件費等の増加によりその他コスト増加も継続
- 自己資本比率は11.1%と前期末比で1.2pt低下。有利子負債は営業減益および運転資本の増加に伴うフリー・キャッシュ・フローのマイナスにより前期末比で増加
- フリー・キャッシュ・フローは、7-9月期ではプラスだが前年同期比では営業減益のため減少

## 2. 2025年3月期 業績予想

- 欧州の経済減速の影響を大きく受け、営業利益、税引前利益、当期利益予想を下方修正
- 主要通貨について2024年3月期より円安の見込み
- エネルギー価格や原材料価格は安定的に推移するものの、世界的なインフレ傾向を反映し人件費等その他コストの増加は継続を見込む
- グループ全体でのさらなるコスト削減等、利益の改善に向けてあらゆる施策を実施

## 3. 中期経営計画「2030 Vision : Shift the Phase」における財務目標の進捗状況

- 欧州経済減速の影響を受けるが、収益性は改善傾向。引き続き収益性を向上させキャッシュ創出力を高め、財務基盤を改善することに注力

## 4. 欧州の事業環境と施策

- 欧州ではリノベーション需要は中長期的に拡大する見込み。ダウンストリーム強化による脱コモディティ製品化により対応

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場の経済環境および競争環境、製品需給、為替・金利相場、原燃料市場環境、法規制の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

日本板硝子株式会社

# 補足資料

- 連結損益計算書 四半期別推移
- 事業部門別・地域別業績 四半期別推移
- セグメント情報
- 地域別売上高および営業利益
- 個別開示項目
- 為替レート・為替感応度
- 減価償却費・資本的支出・研究開発費
- ガラス価格の推移
- 主なニュースリリース

# 連結損益計算書

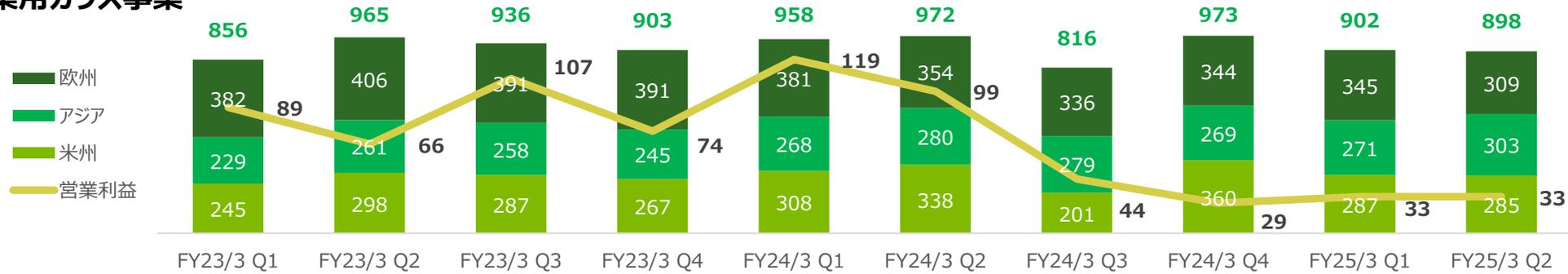
## 四半期別推移

(億円)	2023年 3月期				2024年 3月期				2025年 3月期	
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期
売上高	1,779	1,977	1,906	1,973	2,080	2,122	1,925	2,198	2,164	2,060
営業利益	83	62	97	107	146	115	61	38	48	55
営業利益率	4.6%	3.1%	5.1%	5.4%	7.0%	5.4%	3.2%	1.7%	2.2%	2.7%
個別開示項目 (純額)	23	△ 473	10	△ 12	△ 8	11	6	△ 8	2	△ 2
個別開示項目後営業利益 (△損失)	106	△ 411	107	94	138	125	67	29	49	53
金融費用 (純額)	△ 28	△ 37	△ 48	△ 61	△ 64	△ 77	△ 64	△ 78	△ 60	△ 66
持分法適用会社に対する金融債権の減損損失の戻入益	-	-	-	-	37	-	-	-	-	-
持分法による投資利益	22	10	21	20	10	12	15	14	11	14
持分法投資に関するその他の利益 (△損失)	△ 12	5	△ 4	△ 4	11	△ 0	△ 1	△ 0	-	-
税引前利益 (△損失)	88	△ 434	77	49	133	61	17	△ 35	0	1
当期利益 (△損失)	33	△ 403	22	38	75	30	36	△ 32	27	△ 61
純利益 (△損失)*	24	△ 412	17	34	70	27	37	△ 29	24	△ 63
EBITDA	180	161	202	207	253	226	170	168	175	175

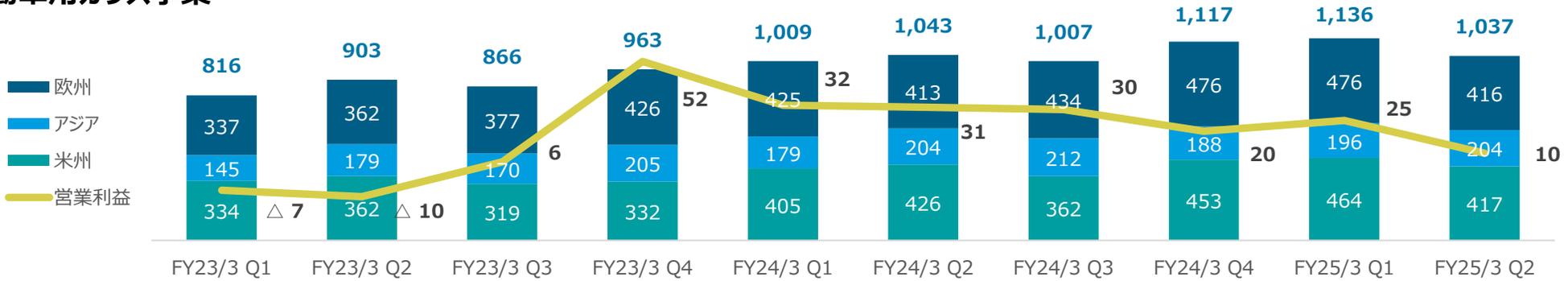
# 事業部門別・地域別売上高および営業利益 四半期別推移

単位：億円

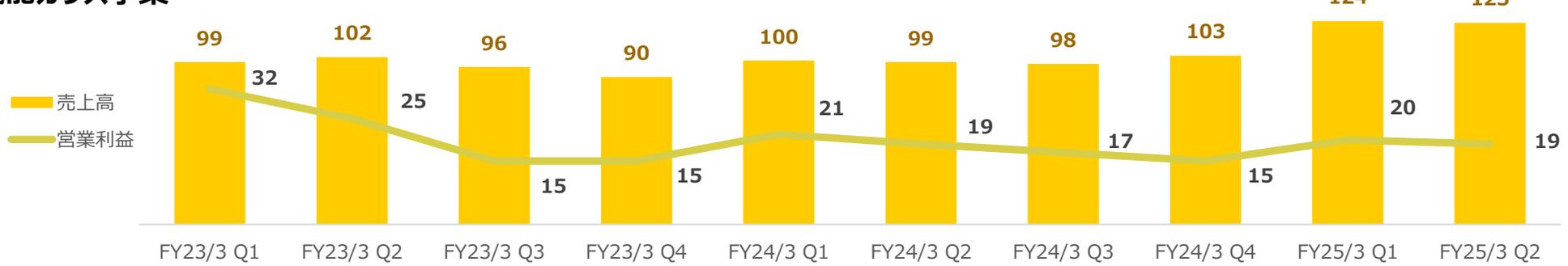
## 建築用ガラス事業



## 自動車用ガラス事業



## 高機能ガラス事業



# セグメント情報

(億円)	2023年3月期					2024年3月期					2025年3月期		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計	4-6月期	7-9月期	累計
売上高: 建築用ガラス	856	965	936	903	3,659	958	972	816	973	3,718	902	898	1,800
欧州	382	406	391	391	1,571	381	354	336	344	1,415	345	309	654
アジア	229	261	258	245	992	268	280	279	269	1,096	271	303	574
米州	245	298	287	267	1,096	308	338	201	360	1,206	287	285	572
営業利益	89	66	107	74	336	119	99	44	29	291	33	33	67
売上高:自動車用ガラス	816	903	866	963	3,547	1,009	1,043	1,007	1,117	4,176	1,136	1,037	2,173
欧州	337	362	377	426	1,502	425	413	434	476	1,747	476	416	892
アジア	145	179	170	205	699	179	204	212	188	783	196	204	399
米州	334	362	319	332	1,347	405	426	362	453	1,645	464	417	882
営業利益	△ 7	△ 10	6	52	41	32	31	30	20	113	25	10	35
売上高:高機能ガラス	99	102	96	90	388	100	99	98	103	399	124	123	247
欧州	21	25	22	27	95	25	26	26	30	106	28	23	52
アジア	75	73	70	58	276	71	69	67	69	275	91	95	186
米州	4	5	4	4	16	4	5	5	4	18	5	5	10
営業利益	32	25	15	15	87	21	19	17	15	71	20	19	39
売上高:その他	8	7	9	18	41	13	8	5	6	33	2	2	4
営業利益	△ 31	△ 19	△ 31	△ 34	△ 115	△ 27	△ 34	△ 30	△ 26	△ 117	△ 31	△ 7	△ 38
売上高:合計	1,779	1,977	1,906	1,973	7,635	2,080	2,122	1,925	2,198	8,325	2,164	2,060	4,224
営業利益	83	62	97	107	348	146	115	61	38	359	48	55	102

# 地域別売上高および営業利益

(億円)	2024年3月期 4-9月期			2025年3月期 4-9月期			増減	
	売上高	%	営業利益 (△損失)	売上高	%	営業利益 (△損失)	売上高	営業利益 (△損失)
欧州	1,623	39%	29	1,598	38%	△ 112	△ 25	△ 141
アジア	1,071	25%	163	1,159	27%	171	88	8
米州	1,485	35%	129	1,463	35%	82	△ 23	△ 48
その他 *	22	1%	△ 61	4	0%	△ 38	△ 17	22
合計	4,202	100%	260	4,224	100%	102	23	△ 158

\* 「その他」セグメントの売上高、営業利益は地域別に区分していない。

# 個別開示項目

(億円)	2024年3月期 4-9月期	2025年3月期 4-9月期
非流動資産の売却による収益	-	3
非流動資産の減損損失の戻入益	2	0
係争案件の解決に係る収益（△費用）純額	9	△ 0
非流動資産の減損損失	△ 6	△ 1
リストラクチャリング費用	△ 0	△ 3
棚卸資産の評価減	△ 2	-
その他	△ 0	△ 0
<b>個別開示項目 純額</b>	<b>3</b>	<b>△ 0</b>

# 為替レート・為替感応度

## 期中平均レート

	2023年 3月期				2024年 3月期				2025年 3月期	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
英ポンド	163	163	164	163	172	177	179	182	197	195
ユーロ	138	139	140	141	150	153	154	157	168	165
米ドル	129	134	137	135	138	140	143	144	156	152
ブラジル・リアル	26.4	26.4	26.5	26.3	27.7	28.6	29.0	29.4	29.9	28.3
アルゼンチン・ペソ	超インフレ会計の適用により、期末レートのみ使用									

2025年 3月期
見通し
195
165
152
28.3

## 期末レート

	2023年 3月期				2024年 3月期				2025年 3月期	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
英ポンド	165	161	160	165	183	182	181	191	204	191
ユーロ	142	141	140	145	158	157	157	163	173	159
米ドル	136	145	132	133	145	148	143	152	162	143
ブラジル・リアル	26.2	26.7	25.7	26.2	29.8	29.5	29.2	30.4	29.3	26.2
アルゼンチン・ペソ	1.09	0.98	0.76	0.64	0.57	0.42	0.18	0.18	0.18	0.15

## 為替感応度

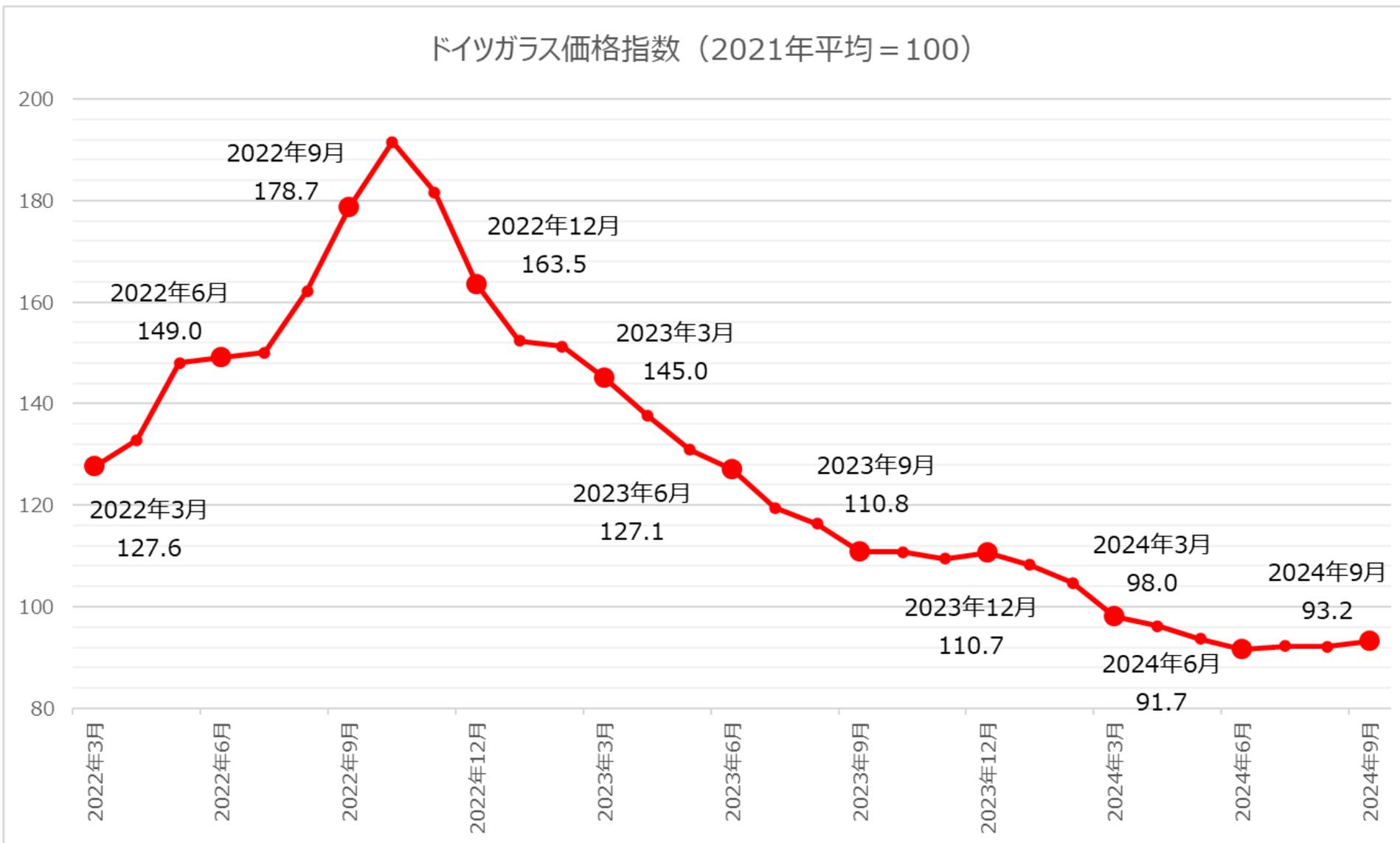
他の前提に変動がない条件で、為替レートが他の通貨に対して1%円安になった場合の影響額

	2024年 3月期
資本	38.0億円の増加
当期利益	1.0億円の改善

# 減価償却費・資本的支出・研究開発費

(億円)	2024年3月期 4-9月期	2025年3月期 4-9月期	2025年3月期 見通し
<b>減価償却費</b>	<b>219</b>	<b>248</b>	<b>490</b>
<b>資本的支出</b>	<b>245</b>	<b>210</b>	<b>630</b>
通常投資	176	116	330
戦略投資	69	94	300
<b>研究開発費</b>	<b>49</b>	<b>52</b>	<b>114</b>
建築用ガラス事業	16	19	
自動車用ガラス事業	15	15	
高機能ガラス事業	4	4	
その他	14	14	

# ガラス価格の推移



# 2024年5月～2024年11月 主なニュースリリース

2024年5月29日	公益財団法人日本板硝子材料工学助成会 第46回研究助成金贈呈式の開催
2024年6月3日	日本板硝子と白山、液浸冷却対応の多心光コネクタを共同開発 COMNEXTに「世界初」展示
2024年6月27日	2024年3月期（第158期）定時株主総会の議決権行使結果を掲載
2024年6月28日	日本板硝子、Jパワー、新日本繊維による環境配慮型高機能リサイクル繊維の事業化に向けた共同検討について
2024年6月28日	コーポレートガバナンスに関する報告書を更新・開示しました
2024年7月9日	国内初、「スペーシア®」が真空ガラスのJIS認証を取得
2024年7月16日	日本板硝子と松竹が共同で運営する透明LEDビジョン 銀座松竹スクエアにて8月1日より試験放映開始
2024年7月29日	英国事業所にグリーン水素製造プラントを設置
2024年8月26日	日経CNBC「トップに聞く」細沼社長出演の動画公開
2024年8月30日	NSGグループにおける各国のDEI活動について
2024年9月11日	Gomez ESGサイトランキング2024 優秀企業に選出されました
2024年10月10日	ドイツ・グラー特ベック工場のフロート窯の停止について
2024年11月1日	国内建築ガラス事業の子会社再編について

**NSG**

**GROUP**